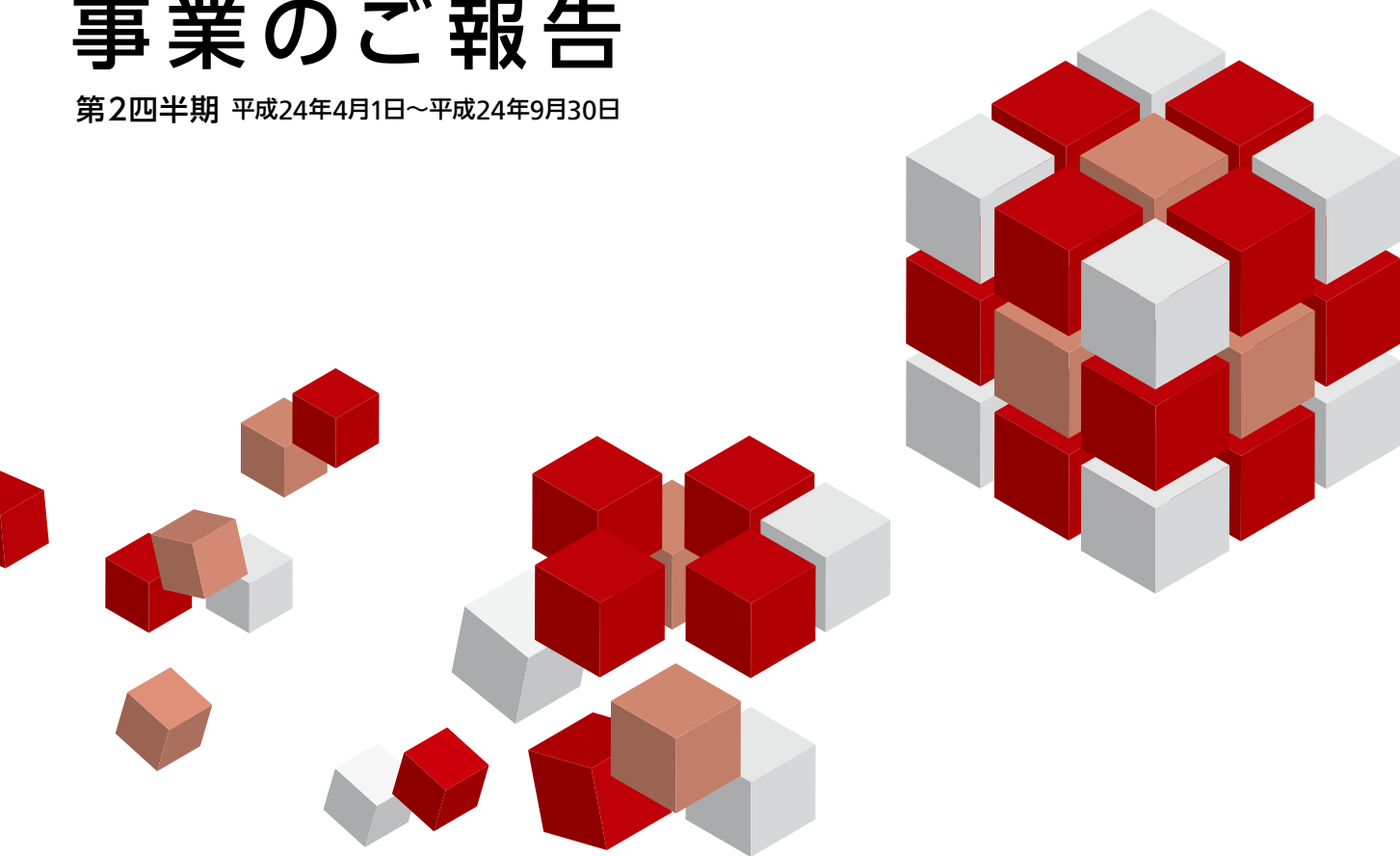


TOPPAN FORMS

第59期 TOPPAN FORMS INTERIM REPORT

事業のご報告

第2四半期 平成24年4月1日～平成24年9月30日



株主の皆様には、平素より格別なご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。第59期第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）における事業の概況についてご報告申しあげます。



当社を取り巻く環境と取り組み

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要や経済政策（エコカー補助金など）の効果によって、緩やかに回復しつつあったものの、欧州債務問題に端を発した世界的な景気の減速や、長引く円高などの影響により、不安定な状況が続きました。

ビジネスフォーム業界におきましては、企業の経費削減の徹底による価格低下や、電子化の進行などによる需要量の減少により、厳しい環境が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、顧客の課題をワンストップで解決する総合的な情報管理ソリューション企業として、ビジネスプロセスアウトソーシング（BPO）を含めた事業領域の拡大とシェアアップによる印刷事業の深耕、ウェブ・カード・自動無線認識（RFID）・近距離無線通信（NFC）などの情報通信技術（ICT）を基盤とした新事業・新サービスの開発、ウェブ販売チャネルの強化と新商品の拡販による商品事業の拡大、中華圏市場への深耕、東南アジア諸国連合（ASEAN）市場の開拓など、海外市場における事業展開を図りました。

また経営基盤強化としては、特に製造拠点の集約、物流拠点の整備など、収益力の強化に取り組みました。

事業展開と業績

主な事業展開といたしましては、ビジネスフォーム分野におきまして、利用者にとっての分かりやすさ、伝わりやすさを追求するユニバーサルデザイン提案を推進いたしました。また、企業の事業再編やシステム変更に伴う帳票改訂需要とともに周辺印刷物の取り込みを図りました。

データ・プリント・サービス（DPS）分野におきましては、金融機関を中心にプリント業務の一括アウトソーシング需要の取り込みや、最新鋭の高速デジタルプリンターを活用したパリアブル印刷物市場の開拓を進めたほか、プリント業務の周辺事務を含めたBPO事業の展開を強化いたしました。

電子メディア分野におきましては、競争優位性の高いRFID製品と機器・システムを組み合わせたソリューションを推進しました。また学生証や社員証などのID分野に集中してICカードの拡販施策を展開するとともに、文書の電子化や電子配信など、企業のIT化、電子化に対応したウェブビジネスの拡販を図りました。さらに新たな事業として、NFC技術を活用した電子マネー決済のためのプラットフォームなど、事業基盤の構築を進めました。

以上の結果、当期の連結売上高は、1,204億円(前期比12.0%増)、経常利益は65億円(前期比34.4%増)、当期純利益は37億円(前期比55.5%増)となりました。

社会的責任に対する取り組み

当社グループを取り巻く全てのステークホルダーに対して企業の社会的責任(CSR)を果たしていくという認識のもと、部門毎のテーマを設定し、CSR活動を推進しております。特に、大切な個人情報をお預かりするDPSのリーディングカンパニーとして、その信頼に確実に応えるために、コンプライアンス、情報セキュリティ、環境マネジメント、事業継続計画(BCP)などの取り組みに対して、従業員一人ひとりが高い意識を持って臨んでまいります。

情報セキュリティに関しましては、社内監査体制の強化に向けた指導員の育成や地区委員会活動の活性化に取り組み、その機能の充実に努めてまいります。

また、環境問題への取り組みにつきましては、全事業所で節電対応を実施し、省エネルギー対策を推進するなど、環境負荷の低減に向けた活動を推進してまいります。

さらに、BCPにつきましては、対象となる拠点の拡大に向けた取り組みを強化するとともに、事業継続マネジメントの国際規格ISO22301の認証取得に向けた活動を推進してまいります。

今後の見通し

わが国経済は、復興需要が引き続き内需を牽引する一方で、世界景気のさらなる下振れリスクが存在するなど、不安定な状況が続くことが予想されます。

また、ビジネスフォーム業界においても、企業の経費節減に伴う価格の低下や、顧客業務のIT化、ネットワーク化

による需要構造の変化など、厳しい状況が続くものと予想されます。

このような状況を踏まえ当社グループは、ビジネスフォーム、DPSを中心に、周辺事務を含めたBPOの受託体制の強化など、印刷事業の領域拡大施策を推進いたします。また、印刷事業をベースに、ICT事業、商品事業、海外事業の基盤の強化を図り、持続的な成長を目指してまいります。さらに、構造改革として、製造拠点の集約や物流の合理化、海外調達の推進など、企業体質の強化を図り、業績向上につとめてまいります。

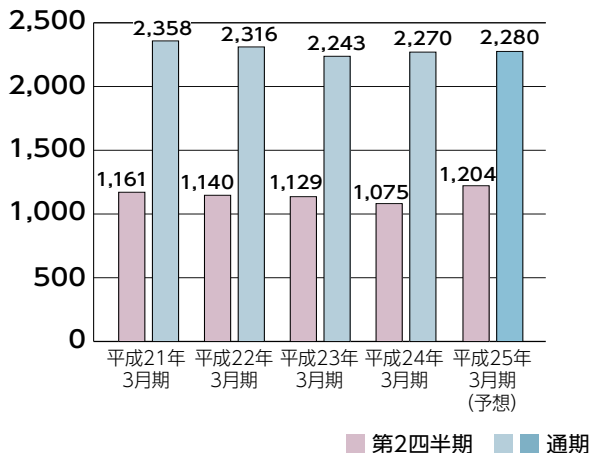
株主の皆様におかれましては、今後とも、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月

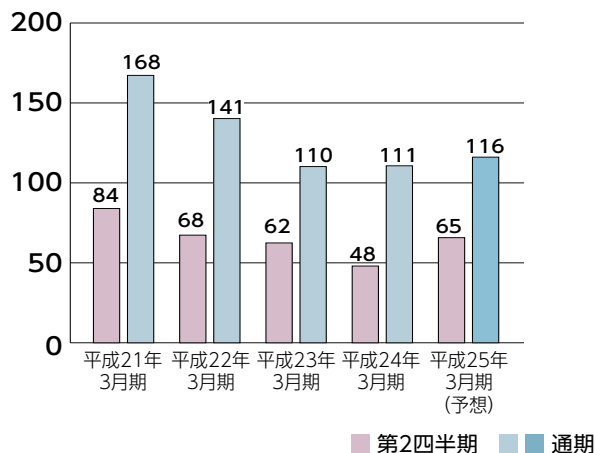
代表取締役社長 櫻井 醜

業績の概要 (連結)

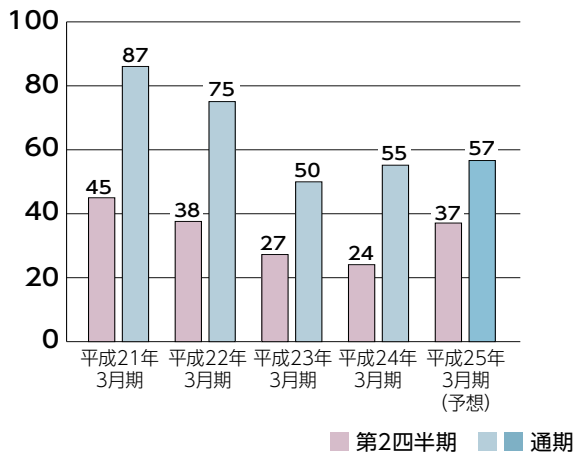
売上高 (単位: 億円)



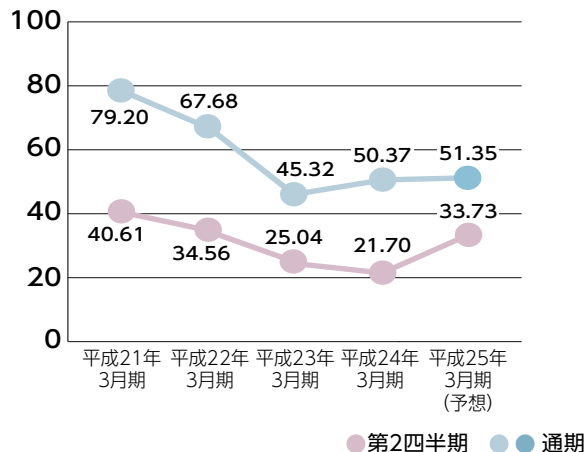
経常利益 (単位: 億円)



四半期純利益 (単位: 億円)



1株当たり四半期純利益 (単位: 円)



印刷事業

売上高 974 億円 (対前年同四半期 15.1%増)

ビジネスフォームでは、利用者にとっての分かりやすさ、伝わりやすさを追求するユニバーサルデザイン提案による帳票改訂や、企業合併に伴う関連印刷物の一括受注などでシェア拡大に取り組みましたが、経費削減の徹底による価格低下や電子化に伴う需要量の減少により、前年を下回りました。

DPS は、通知物の電子化や簡素化、競争激化による単価ダウンはあったものの、金融機関を中心としたプリント業務の一括アウトソーシング需要の取り込みや、最新鋭の高速デジタルプリンターを活用したバリエーション印刷市場の開拓、プリント業務の周辺事務を含めた BPO 受託の増加により、前年を大幅に上回りました。

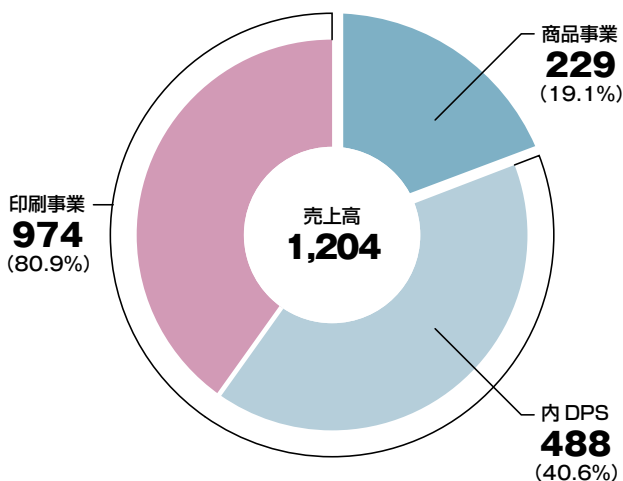
商品事業

売上高 229 億円 (対前年同四半期 0.4%増)

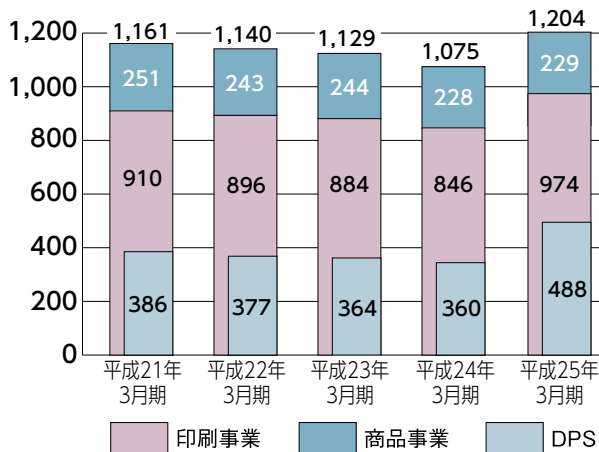
サプライ品は、販売価格の下落はあったものの、用紙類を中心としたオフィス用品の需要が回復したほか、災害対策や販売促進用ノベルティなどの商品拡販により、前年を上回りました。

事務機器関連では、配送伝票対応プリンターや金融機関向けカード発行システムの拡販を行いました。企業におけるメーリング業務のアウトソーシング化による需要減などの影響で前年を下回りました。

売上高部門別構成比 (単位: 億円)



部門別売上高の推移 (単位: 億円)



■ 自動認識システム大賞 当社と群馬大学病院が共同で受賞

当社と群馬大学医学部附属病院は、「調剤工程管理システム」で第14回自動認識システム大賞（主催：日本自動認識システム協会）を共同受賞しました。同システムは、汎用性が高く、既存の調剤工程に影響を与えない点が特長。ICタグを取り付けた処方箋を、調剤工程ごとに設置したアンテナで読み取り、滞留数や単位時間当たりの処理数、調剤進捗状況などを可視化します。これにより、電話による直接問い合わせが減少し、作業中断による調剤ミスの要因が減少しました。



■ 東北復興イベントにNFC ロンドンでO2Oサービスをデモ

当社とTFペイメントサービス株式会社は、7月にロンドンで実施された東北復興イベント「リニュー・トウホク」において、近距離無線通信（NFC）スマートポスターとFacebookを連携するアプリケーションを提供しました。このイベントは経済産業省の採択を受けた株式会社アイ・エム・ディと、ジャパニーズ・グレイツ株式会社が企画・実施したもので、東北地方の職人が作った家具や工芸品などを展示。作品の魅力を世界中に情報発信するオンライン・ツー・オフライン（O2O）サービスの本格事業展開を前にデモンストレーションしました。

※Facebookは、Facebook, Inc. の商標または登録商標です。



■ 災害時は避難所に 50周年記念の大阪桜井工場建設

当社は創立50周年記念事業の1つとして「大阪桜井工場」を大阪府三島郡島本町桜井に建設中です。東日本大震災級の大地震に耐える構造を持ち、自家発電、対災害通信設備などを備え、災害時には地域住民の民間避難所として機能するなど地域社会との絆を重視しています。同時に、周辺の3事業所（摂津、江坂、桜井）を統合して一貫製造体制を整え、社内トップの高い生産性を実現します。完成後は関西における基幹工場として重要な役割を果たします。竣工は2014年6月末の予定です。



■ 通信距離3倍で10文字表示の電子ペーパーラベル開発

当社は、表示の書き換え距離を従来の約3倍となる20cm以上に伸ばすとともに、カタカナを含め10文字までの表示を可能としたバッテリーレス電子ペーパーラベルを開発しました。国際標準規格ISO/IEC15693に準拠し、従来品と比較して格段に薄く（表示部0.4mm厚）、無線通信で書き換えが可能のため、紙のラベルのように都度差し替える必要がなく、コンテナなどに貼り付けたままでの運用が可能です。物流、流通・通販業界を中心にシステム構築を含めて提案し、2015年度に年間5億円の販売を見込みます。



四半期連結貸借対照表 (単位:百万円)

| | 当第2四半期 平成24年9月30日現在 | 前連結会計年度 平成24年3月31日現在 | | 当第2四半期 平成24年9月30日現在 | 前連結会計年度 平成24年3月31日現在 |
|-----------------|------------------------|-------------------------|--------------------|------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | | 負債の部 | | |
| 流動資産 | 100,071 | 99,450 | 流動負債 | 40,659 | 43,252 |
| 現金及び預金 | 35,665 | 34,201 | 支払手形及び買掛金 | 24,417 | 27,440 |
| 受取手形及び売掛金 | 45,116 | 47,120 | 短期借入金 | 309 | 298 |
| 有価証券 | 2,884 | 2,433 | 1年内返済予定の長期借入金 | 4 | 51 |
| 商品及び製品 | 8,152 | 8,070 | 未払法人税等 | 1,939 | 2,044 |
| 仕掛品 | 1,141 | 959 | 賞与引当金 | 4,217 | 4,106 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,056 | 1,958 | 役員賞与引当金 | 28 | 42 |
| 繰延税金資産 | 2,158 | 2,063 | 資産除去債務 | 179 | 138 |
| その他 | 3,143 | 2,891 | 設備関係支払手形 | 2,500 | 974 |
| 貸倒引当金 | △ 247 | △ 248 | その他 | 7,061 | 8,155 |
| 固定資産 | 90,031 | 91,100 | 固定負債 | 3,348 | 3,581 |
| 有形固定資産 | 66,272 | 65,870 | 繰延税金負債 | 128 | 125 |
| 建物及び構築物 | 28,442 | 29,284 | 退職給付引当金 | 2,574 | 2,660 |
| 機械装置及び運搬具 | 9,990 | 11,384 | 役員退職慰労引当金 | 133 | 156 |
| 工具、器具及び備品 | 2,018 | 1,776 | 資産除去債務 | 478 | 595 |
| 土地 | 22,627 | 22,627 | その他 | 33 | 44 |
| リース資産 | 34 | 47 | 負債合計 | 44,007 | 46,833 |
| 建設仮勘定 | 3,158 | 749 | 純資産の部 | | |
| 無形固定資産 | 3,524 | 3,486 | 株主資本 | 146,058 | 143,701 |
| その他 | 3,524 | 3,486 | 資本金 | 11,750 | 11,750 |
| 投資その他の資産 | 20,234 | 21,743 | 資本剰余金 | 9,270 | 9,270 |
| 投資有価証券 | 12,807 | 13,539 | 利益剰余金 | 129,954 | 127,597 |
| 繰延税金資産 | 2,313 | 2,414 | 自己株式 | △ 4,916 | △ 4,916 |
| その他 | 5,456 | 6,141 | その他の包括利益累計額 | △ 520 | △ 552 |
| 貸倒引当金 | △ 343 | △ 351 | その他有価証券評価差額金 | 253 | 285 |
| | | | 為替換算調整勘定 | △ 774 | △ 837 |
| | | | 新株予約権 | 13 | 33 |
| | | | 少数株主持分 | 543 | 533 |
| | | | 純資産合計 | 146,094 | 143,716 |
| 資産合計 | 190,102 | 190,550 | 負債純資産合計 | 190,102 | 190,550 |

四半期連結損益計算書 (要旨) (単位:百万円)

| | 当第2四半期 平成 24 年 4 月 1 日～ 平成 24 年 9 月 30 日 | 前第2四半期 平成 23 年 4 月 1 日～ 平成 23 年 9 月 30 日 |
|-------------------|--|--|
| 売上高 | 120,441 | 107,551 |
| 売上原価 | 95,185 | 84,658 |
| 売上総利益 | 25,256 | 22,892 |
| 販売費及び一般管理費 | 18,941 | 18,250 |
| 営業利益 | 6,314 | 4,641 |
| 営業外収益 | 466 | 412 |
| 営業外費用 | 238 | 185 |
| 経常利益 | 6,543 | 4,868 |
| 特別利益 | 20 | 117 |
| 特別損失 | 430 | 367 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 6,134 | 4,618 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,340 | 2,097 |
| 法人税等調整額 | 26 | 130 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 3,767 | 2,390 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | 22 | △ 17 |
| 四半期純利益 | 3,744 | 2,408 |

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位:百万円)

| | 当第2四半期 平成 24 年 4 月 1 日～ 平成 24 年 9 月 30 日 | 前第2四半期 平成 23 年 4 月 1 日～ 平成 23 年 9 月 30 日 |
|------------------------------|--|--|
| I . 営業活動によるキャッシュ・フロー | 5,136 | 8,515 |
| II . 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 2,233 | △ 3,288 |
| III . 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 1,466 | △ 1,748 |
| IV . 現金及び現金同等物に係る 換算差額 | 2 | △ 32 |
| V . 現金及び現金同等物の 増加額 (△減少額) | 1,439 | 3,446 |
| VI . 現金及び現金同等物の 期首残高 | 36,610 | 34,121 |
| VII . 現金及び現金同等物の 四半期末残高 | 38,049 | 37,567 |

会社概要

平成24年9月30日現在

| | |
|---------|---------------------------|
| 商号 | トッパン・フォームズ株式会社 |
| 英文名 | TOPPAN FORMS CO., LTD. |
| 本店所在地 | 東京都港区東新橋一丁目7番3号 |
| 電話 | (03) 6253-6000 (ダイヤルイン案内) |
| 設立 | 昭和30年5月2日 |
| 資本金 | 117億5,000万円 |
| 発行済株式総数 | 115,000,000株 |
| 従業員数 | 1,858名 |

当社の主要な事業所

平成24年9月30日現在

| | | |
|-----|-----------------|-----------|
| 本社 | 東京都港区東新橋一丁目7番3号 | |
| 事業所 | 営業統括本部 | (東京都港区) |
| | 製造統括本部 | (東京都港区) |
| | 東日本事業部 | (宮城県仙台市) |
| | 中部事業部 | (愛知県名古屋) |
| | 関西事業部 | (大阪府大阪市) |
| | 西日本事業部 | (福岡県福岡市) |
| | 東京データセンター | (東京都中央区) |
| 研究所 | 中央研究所 | (東京都八王子市) |

役員

平成24年9月30日現在

| | | | |
|---------|-------|-----------|--------|
| 代表取締役社長 | 櫻井 醜 | 取締役 | 池内 秀行 |
| 取締役副社長 | 新田 健二 | 取締役 | 金子 俊明 |
| 専務取締役 | 加藤 栄司 | 取締役 | 浜田 光之 |
| 専務取締役 | 増田 俊朗 | 取締役 | 坂田 甲一 |
| 常務取締役 | 広村 俊悟 | 常任監査役(常勤) | 大塚 潔 |
| 常務取締役 | 森 茂孝 | 監査役(常勤) | 堀 喬一 |
| 常務取締役 | 亀山 明 | 監査役 | 木下 徳明 |
| 取締役 | 足立 直樹 | 監査役 | 佐久間 国雄 |
| 取締役 | 福嶋 賢一 | 監査役 | 前田 幸夫 |

株主 (上位10名)

平成24年9月30日現在

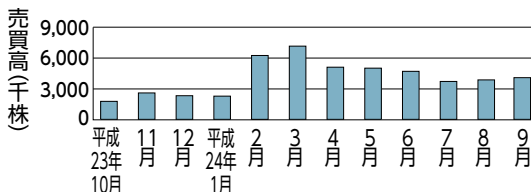
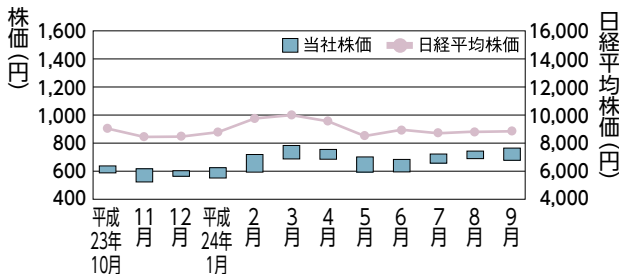
| 株主名 | 当社への出資状況 | |
|--|-------------|-------------|
| | 株式数 (千株) | 持株比率 (%) |
| 凸版印刷株式会社 | 67,419 | 60.7 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 | 8,814 | 7.9 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 | 3,030 | 2.7 |
| トッパンフォームズグループ従業員持株会 | 2,527 | 2.3 |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社 | 2,107 | 1.9 |
| バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカウント ジェイピーアールデイ アイエスジー エフイー エイシー | 1,716 | 1.5 |
| 第一生命保険株式会社 | 1,329 | 1.2 |
| ドイチェ バンク アーゲー ロンドン ピービー ノントリティー クライアントツ 613 | 824 | 0.7 |
| CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO | 684 | 0.6 |
| ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リ ユーエス タックス エグゼンプテド ペンション ファンズ | 599 | 0.5 |

(注) 1. 当社は自己株式 4,003 千株を保有しておりますが、上記の表から除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株価の推移・株式分布状況

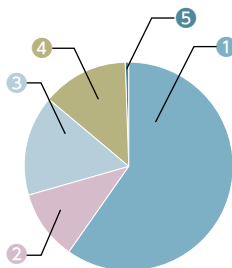
平成24年9月30日現在

株価の推移 (東京証券取引所)



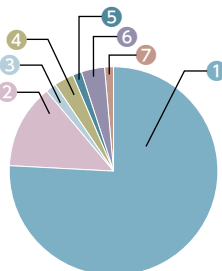
株式分布状況 (所有者別) (%)

- ① その他法人 68,737,700株 (59.8%)
- ② 外国法人等 12,449,582株 (10.8%)
- ③ 金融機関 17,798,500株 (15.5%)
- ④ 個人・その他 15,474,239株 (13.5%)
- ⑤ 金融商品取引業者 539,979株 (0.5%)



株式分布状況 (所有株数別) (%)

- ① 100万株以上 86,993,954株 (75.6%)
- ② 10万株以上 14,697,155株 (12.8%)
- ③ 5万株以上 2,043,008株 (1.8%)
- ④ 1万株以上 3,607,794株 (3.1%)
- ⑤ 5千株以上 1,720,490株 (1.5%)
- ⑥ 1千株以上 4,298,880株 (3.7%)
- ⑦ 1千株未満 1,638,719株 (1.4%)

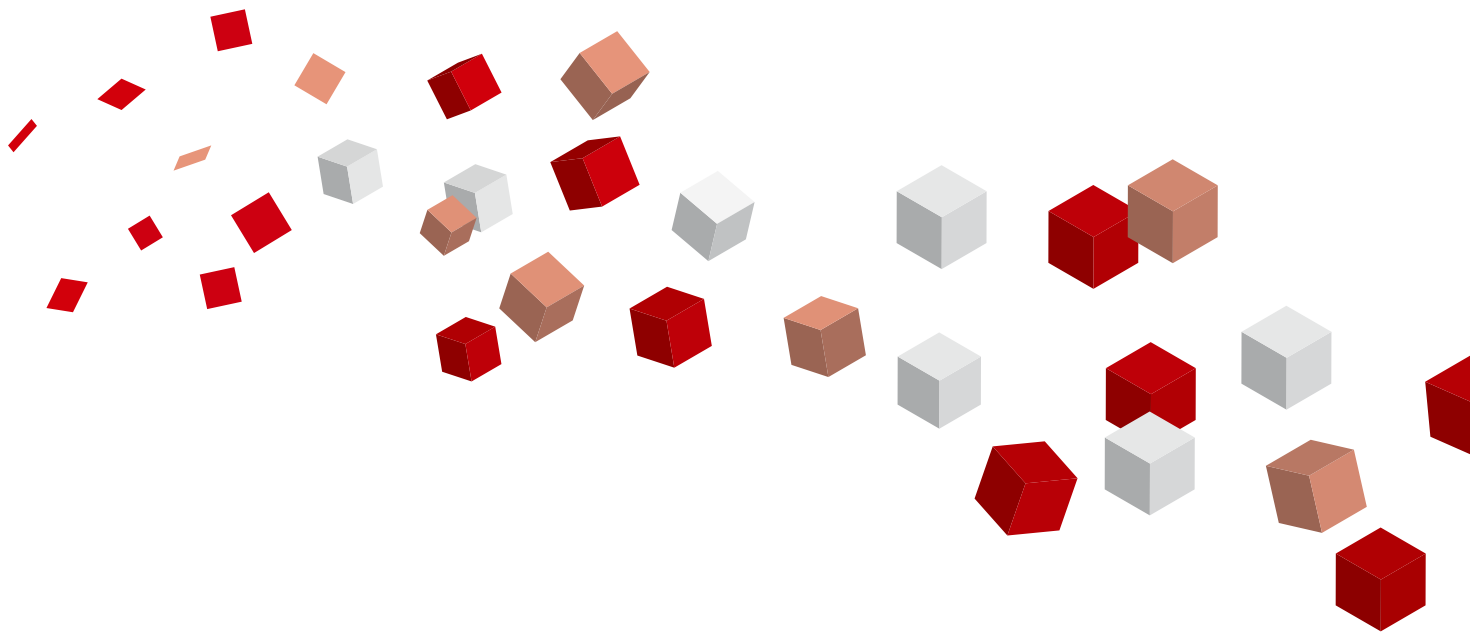


株主メモ

| | |
|---------------------|--|
| 事業年度 | 4月1日～翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主確定基準日 | 定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。 |
| 公告方法 | 電子公告により、当社ホームページ (http://www.toppan-f.co.jp/) に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 |
| 株主名簿管理人 特別口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 0120-232-711 (通話料無料) |
| 1単元の株式の数 | 100株 |
| 上場取引所 | 東京証券取引所 |
| 証券コード | 7862 |

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として口座を開設されている証券会社等が受付窓口となります。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。郵便物等の発送・返戻、未受領の配当金等につきましては三菱UFJ信託銀行株式会社に承ります。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に受付いたします。
- 特別口座に記録された株式を市場で売却する場合は、特別口座から直接売却することができませんので、証券会社等の口座に振替える必要がございます。



トッパン・フォームズ株式会社

本店 〒105-8311 東京都港区東新橋一丁目7番3号
<http://www.toppan-f.co.jp/>